◎火の用心◎ 二月二八日から三月一三日まで 全国春の防火週間

◎火の始末人に頼むなまかせるな

積雪の中で盛大に終る

三十八年消防出初式

新春を飾る本町の消防出初式は1月31日積雪20センチの悪天候の中で、山田中学校校庭に消防団員全員と、寺園県知事を始め来賓多数を迎えて盛大に行なわれた

この日は朝から降雪で式の挙行があやぶまれたが、午前10時には降雪も出初式を祝福するかのように止み山田中学校々庭に関係者と消防団員全員が勢ぞろいして式がはじまった。

池田新町長が観閲したあと、機械器具点検、可搬式ポンプに続いて自動車ポンプの操法訓練ののち分列行進が行なわれ参観者の目をうばった。

このあと分列式放水演習に続いて県消防協会、姶良町支部長表彰町長表彰などがあり、無事故、無火災の町づくりを固く誓い出初式を終った。

表彰者は次のとおり

1 鹿児島県消防協会姶良支部長表彰

米山分団部長 福貴迫常男

三叉分団部長 米増 利夫

2 町長、団長表彰

(1)優良分団表彰

木津志分団 三叉分団操法要員

(2) 優良団員表彰

船津分団	班長	蔵満一利
三叉分団	班長	久保 充
下名分団	班長	川崎美義
上名分団	班長	内村敏明
北山分団	班長	北野照文
脇元分団	団員	原 裕人
平松分団	班長	春山兼二
松原分団	団員	原田正男
建昌分団	班長	花田 茂
米山分団	団員	楠松精一
大山分団	班長	内村秀男
木津志分団	団員	中村 巌

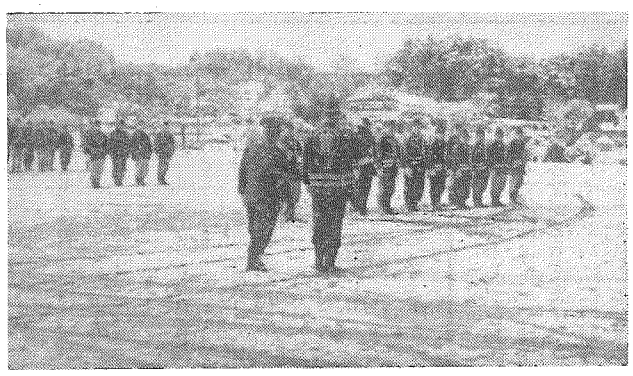
(3) 退団者感謝状

前副団長 丸尾安光

(4) 消防協力者表彰

浜崎知治 山元時義

蔵敷 秀 米重時盛



広報あいら

発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場

発行人 池田盛孝 編集人 篠田克己

(印刷所) キング堂印刷所

町の人口動態

(2月1日現在)

戸数		6,015戸
人口	男子	10,624人
	女子	12,216人
	合計	22,840人
1月の	出生	13人
	死亡	19人
	転入	6戸
	転出	2戸

就任のあいさつ

町長 池田盛孝

池田町長

八年間の永きに亘りよく町政をリードされた水流町長の跡を受けて不肖町長の職に就くことになりました。何卒よろしくご指導の程お願い申し上げます。

一月二十三日に事務の引継ぎをいたしました。引継ぎと申すことは形式的のことかと思っていましたが、重要な政策のことが主でして、財政の部合で実現できなかった案件が大部でありますが、私が公約いたしました案件も相当あります。重点的に配慮いたしまして実現に努力いたしたいと思います

◇就任した日に予算を編成しなさいと云われ、公約を果す為め財源の見透しの勉強にかかりました。税金は下げる方向に行きますので財産収入に目が向きますが、山の伐採も計画的にやりますと四〇〇万円位が限度となり、勢い国のお力にすがる以外に手がないようです。昨年は二千万円以上の山の収入が見積ってありましたが、昨年の五分の一となりますと大変なことになります。

健全財政で行くとすると、国、県に働きかけるしかないようです これは町民一丸の熱意を当局に見せることが大切ですので一層のご声援をお願い申し上げます。

◇姶良町にはいろいろな人方が住んでおられます。非常に高い知識層の方も沢山おられ、また、いろいろ沢山の産業方面の経験や体験をもった方も多いので、できるだけお話を承わり本町の内容充実にご協力をお願い申し上げたいと思います。

ドアーの開放は私の主義で開けておりますが、寒いでしょうと職員の方が閉めて出て行かれます。これも親切な心でなさるわけですから有難く受けて気付いた時は開けに参ります。

何にも形式に取らわれるわけではありません。お気軽にお這入り頂きよい話をお聞かせ下さい。現に或るお医者さんは、本町の老人病中風が多いのは残念で、初期に治療すれば元通り手足の運動も出来るから、この方面で協力すると申出られました。善意銀行の一つでしょう。有難いことです。

また本町に工場進出された菅原さん、黒田さん(南日本度器社長)も工場誘致に積極的な御意見を披瀝して下さって町の発展にいろいろと心配をして下さること感謝に堪えません。

◇町は国や県の行政事務の一部を代行することが多く、また町自体の用務も幅広く多いので、席の温まる暇なしとは事実ですが、重点的に判断して出歩き、必ず役場を中心にして常に連絡を取るように努めます。

◇私は酒も二三杯でいけなくなるので、この点の欠礼はお許し下さい。タバコは好みませんが、宴席で手もちぶさたにフカす程度です部落に参りましてもどうかお茶一つでお許し下さい。

◇町長職にはどうも儀式が多い。第一にぶっかったのが消防出初式でありました。挙手の敬礼なぞずっとやった事がなかったので、うまくできるかどうか不安でした。失敗すれば消防団一年の士気に関するので非常に責任を感じ、それで知事に応援を求めた処、心易く約束して下さった。雪中知事に御来町頂き私の責めの大半を補なって頂いたわけで有難い事でした。お蔭で帖佐～山田間の県道がよくなる副産物迄出来ました。時々機会を見てご案内申上げます。

◇連日の悪天候と南国にはめづらしい雪で道路が大変に痛みました雪除けに懸命でしたが、これからは補修にかかります。どうも聞きますと失対事業も国や県の工事に大部分の労務者を取られ直接町道に向ける数の制限を受けたりして予定工事の進捗が年度末にシワ寄せされて困っています。

道路はその町の顔だと聞きます部落道の品評会をして愛町運動をもり上げるのも一策かと思いますが一寸したご協力で案外な成果を収めることもあるかも知れませんが、早くサク岩機の機械を発揮出来る場所を見付けてご期待に副うよう努力いたします。

どうも挨拶はお説教じみたものと考えましたが時間の合間合間に断片的に書きつずけて済みませんが素思を申し上げて挨拶といたします。

退任のご挨拶

前町長 水流清高

町民の皆さま

昭和三十年一月二十四日、不徳にして微力な私が姶良町の初代町長に就任いたしましてから、二期八カ年の長い間、温かいご指導と強いご協力とをいただきましたことを心から感謝いたします。

皆さまのご芳情のお蔭で、常に働き甲斐を感じて、町政に力一杯の努力を尽したつもりではございますが、私が微力なためにご期待に添い得なかったばかりでなく、不徳のせいで失礼な言動が多々ございましたことを誠に申し訳なく思っております

退任するにあたり、紙上を借りて、心からお礼を申し上げますと共にお詫びを申し上げます。

後には人格識見ともにすぐれた池田盛孝氏が就任せられてご同慶に存じます。新町長を中心に全町民の皆さまが力をあわせて下さいまして、他の市町村にぬきんでた模範的な町づくりが実現することを願ってやみません。

おわりに姶良町の発展と町民の皆さまのご多幸を祈らせていただきます。

(退任式後職員に送られて退庁)

科学・産業・防衛

南日本大博覧会開催

1,主催 鹿児島県、鹿児島市、鹿児島商工会議所、南日本新聞社

2,期日 昭和38年3月20日から5月20日まで

3,会場 磯公園文化センター一帯(磯公園、尚古集成館、お濱の国)

4,諸施設の概要

①宇宙科学館 ②電気科学館

③生活文化館 ④農業館

⑤観光物産館 ⑥交通運輸館

⑦事務機械館 ⑧専売館

⑨琉球館 ⑩～⑬防衛綜合館(陸上、海上、航空)

⑭心の科学館 ⑮野外展示

⑯磯公園 ⑰尚古集成館

⑱お濱の国 ⑲演芸館

5,入場料 大人 当日160円(前売130円抽せん券付)高校生100円 小人80円(小中学生)

小人(前売50円満4才以上)

団体は30名以上とし引率者は30名に1名づつ無料とする。大人30名以上135円、高校生30名以上80円 小学生30名以上50円

6,前売券は農協婦人部で取扱います。

昭和三十八年度 建昌幼稚園園児募集

次の要項で園児の募集をしますので多数応募ください。

一、入園資格および募集人員

六才児(一年保育)

自昭和三十二年四月二日 至昭和三十三年四月一日

五才児(二年保育)

自昭和三十三年四月二日 至昭和三十四年四月一日

右期間中に出生した者約九〇名

二、出願手続

(イ) 提出書類 入園願

(ロ) 出願期日 昭和三十八年二月末日まで

(ハ) 届先 役場内教育委員会事務局または建昌幼稚園

三、身体検査および入園通知

三月上旬本幼稚園で身体検査を行ない三月中旬入園許可証を交付する

四、入園式

昭和三十八年四月六日 午前十時

五、入園料および保育料

(イ) 入園料 入園のさい手数料として三〇〇円(一回限り)

(ロ) 保育料 毎月五〇〇円

六、備考

(イ) 詳細は町教育委員会又は本幼稚園に問い合せてください

(ロ) 入園願書は町教育委員会、本幼稚園または部落婦人会長宅にあります。

三月三日は耳の日

耳は子どもの知能を左右する

三月三日は「耳の日」です。この日を中心に、全国的に「聴力保護運動」が行なわれます。

いうまでもなく、耳(聴覚)は目(視覚)や鼻(きゅう覚)とならんで人間の重要な感覚です。この三つのどれが欠けても人間の生活は不便なものです。とりわけ、目と耳の果たす役割は大きなものです。

近年、乗りものや機械の発達によって、私たちの生活は便利になり、暮しやすくなった反面、乗りものの音や機械の騒音は、ますます大きくなるばかりで、私たちの神経を極度に刺激しています。このような騒音の中で私たちは生活していて、案外、耳の健康についてはうといのではないでしょうかある研究所の動物実験によりますと、動物に激しい騒音をくりかえし与えたところ、その動物の寿命は、著しく短くなったことが証明され、人間にも同じ結果が及ぶのではないかといわれています。

また、学校で、耳の悪い子と健康な子の知能を比べた結果、耳の悪い子は知能が非常に劣ることも証明されています。このように、耳は子どもの知能を左右するほどたいせつなものであることがうかがえましょう。

生活設計簡易保険新加入運動

期間 昭和三十八年一月十日から昭和三十八年三月十五日迄

○あかるい家庭に簡易保険

○簡易保険であかるいくらし

○くらしのなかに簡易保険

○生活設計まず保険

○簡易保険でくらしの準備

○くらしに工夫こつこつ貯蓄

○みんなで貯蓄ゆたかな経済

新しい方向
水稲の省力栽培

将来、収入がふえるとたべものの消費が変ることから将来成長するものと思われるものに畜産、果樹、野菜などが大きくとりあげられ米そのものが忘れられがちになるのではないでしょうか。

本町の農業振興は構造改善事業によって経営の主体となる作目は鶏でその増羽対策が構じられ所得の増加に努力がはらわれています

また現在作業がすゝめられています営農指標によって新しい経営の方向が示され経営が大きく発展することでしょう。

いずれにしても今後の営農は一時間当りの労働生産を高めることが目標となり現在栽培している作物に要する労力を省力しなければ新しい経営への発展は望めません

労力を少く合理化するためにはいろいろな方法があって町がとりあげています省力栽培はその代表的なものです。

昭和三十六年指定されました麦の省力栽培パイロット地区の成績は普通栽培に比べ収量において二〇%の増収、労力において四〇%程度省力されています。

また昨年技術的に問題が多いとされています水稲直播栽培を町内十一カ所に実施いたしましたのでその成績の概要を紹介いたします

水稲の直播栽培には乾田直播とタン水直播がありますが普通水稲では梅雨との関係でタン水直播がとりいれやすく、実施しました十一カ所のうち一カ所だけが乾田直播でほかはタン水直播でした。

その作り方、成績の概要は次の通りです。

一、作り方

1 品種　農林十八号
2 播種期　六月五日～十七日
3 播種法　シバタ式人力播種機使用
4 播種量　一〇アール当り七～一〇リットル
5 除草　除草剤使用
第一回　播種後二〇日～三〇日目にスタム乳剤撒布
第二回　七月下旬水中二、四D撒布
6 施肥量　普通栽培よりやゝ多く
7 その他　普通栽培と同様

二、収量成績

三、労働力調査成績

以上の結果から

1 タン水直播はタネマキの条件に適する土のカタサに問題があります。

2 直播栽培に適する品種がほしい。

3 雨によって除草剤の撒布時期がおくれ効果が少なかった。

4 労力は普通栽培に比べタン水直播で五〇%の省力ができたがスタム乳剤の除草効果が期待できなかったのでヒエヌキに手間がかゝった。

また乾田直播は発芽が悪く補植に労力を要している。

5 収量において平年作（六名調査）より二二%の増収であります。

普通栽培の収量が平年作より五%の増収でありますから直播栽培は実質十七%の増収になります。

僅か一ケ年の成績で直播栽培を普及することはまだ問題が残っていますけれども、この結果によって本年は更に安定することと考えます。

実施に当りましては用水や病害虫の発生などから、集団栽培でなければならないでしょう。

また労力の面からみますと播種作業から乾田直播がよく、乾田直播を導入するためには早期栽培でなくてはならないと考えます。今後経営を拡大するためには早期栽培の前後作を活用することが重要で早期稲作の導入をはからなければなりません。

幸い町において昨年に引続き本年は早期栽培を対象に構造改善事業の土地基盤整備地区に集団して八〇アール計画されていますのでその結果が期待されます

作り方や成績はタン水、乾田直播栽培の二方法とも含まれ、タン水直播は水を入れて整地しその後播種する方法で、乾田直播は始めから畑状態で播種する方法です。

なお本年の直播栽培につきましては後日希望調査を行い地域毎に説明会を開催いたします。

（農業改良普及所）

(1) 収量調査

部落名	氏名	33m当生籾重	同左乾燥重	10a当乾籾重	10a当玄米重	10a当玄米容量	平年収量	比率	普通作増収率
			g	Kg	77%Kg	升	升	%	%
城下	上村実		2,060	618	476	317			
森山	上田覚		2,120	636	490	326			
十日町	中原義則	2,600	2,180	654	504	336	250	134	104
十日町	長崎幸男	2,450	2,130	639	492	328	260	126	110
上麓	東常一	2,630	2,235	670,5	516	344			
増田	岸園三男	2,607	2,215	664,5	512	341	290	117,5	105
住吉	三月田イサ子	2,513	2,105	631,5	486	324	300	108	100
永瀬	新原よし	2,385	2,055	616,5	474	316			
山田	池田盛孝	2,830	2,480	744	574	382	300	127	106,6
西田	内村光男	2,425	2,104	631,2	486	324			
木津志	中村広幸	2,478	2,150	580	447	298	250	119	100
中甑	田代盛雄	2,435	1,948	578	445	296			
山花	比知屋忍	1,625	1,581	470	362	241			
	平均	2,452	2,107	620,2	476	321	275	121,9	104,4

(2) 労働力調査

	慣行	乾田	たん水
	時間		
耕耘整地（苗代含）	6	10	5
播種（田植含）	26	2	4
薬剤撒布	12	2	12
管理	26	60	10
刈取	5	5	5
計	75	79	36

姶良町史蹟めぐり（10）
島津豊後守季久とその遺蹟

木津志小　松永守道

亨徳年間に平山氏をおとしいれた島津豊後守季久は、以後、帖佐の領主として新しく瓜生野城を築きここを治所とすることにしました季久は島津家九代久豊の三男で十代忠国の弟であります。

応永二十年鹿児島に生れ、早くから兄忠国のかたうでとなって、諸処に戦功のあった人で、平山氏攻めも忠国の命令で行なった戦さでありました。

この季久から始まった島津家は代々豊後守を名のりましたので、豊州島津家といわれています。

さて、瓜生野城（後の建昌城）に長男の忠康とともに移った季久は二男の忠康に平山城を守らせ三男の満久は加治木の領主であった加治木家をつがせここに一族の威風がとみにあがったのであります

① 瓜生野城

今、帖佐由来記により、瓜生野城の構えをうかがってみましょう本丸以下九つの山城に分かれております。

胡摩ケ城	物廻	一八六間	前之城
西之城	物廻	四六八間	東之城
常見ケ城	物廻	二三七間	本丸
二ノ丸	物廻	一八二間	南之城
物廻	一四一間	物廻	楼之城
物廻	一二一間	物廻	一〇九間

この瓜生野城は惣廻二十町余、北は断崖絶壁で高さ六十間ばかり、東南は広い水田で、西は険しい山に続き、その間に深い堀切があると地理纂考などに見えますがおしいことに水が十分でありません。

それで、いざ戦いとなると、城の木の間に白木綿をはりわたしてさも水があるように見せかけたものだとも伝えられていきます。

なお、時代が下って島津義弘のころに、明人の顕川三官が、瓜生野城の要害堅固さが中国の建昌城によく似ていると言ったので、それから建昌城と呼ぶようになりました。

また関ケ原の戦の後、肥後の加藤清正を先鋒として、徳川軍が島津攻めを行なうという噂が高かったので、義弘は蒲生の龍ケ城に本営をおき、瓜生野、平山、山田、松坂、岩剣の各城を出城とした陣地構築を考え、竜ケ城には取添地を設け、瓜生野城も修理して万全の備えをしたといわれています。

② 季久の墓碑

文明九年八月六日、六十五才で死んだ季久の遺体は瓜生野城外、中福良の雲門寺に葬りました。

しかし季久の菩提寺は総禅寺であり、この寺を新築中でありましたので、完成してからは総禅寺に改葬しました。

それで前の雲門寺の墓跡にはずっと後になって、子孫の黒木島津家から別に碑を建てて今日に及んでいます。

この碑を俗に黒木どんの墓、または豊後どんの墓と呼んでいます碑文は次の通りです。

総禅寺殿題橋柱公大禅伯
文明九年丁酉八月六日
島津豊後守久邦
建立
元禄三年七月

傍らに石灯籠があり、これには

奉造立
明和丁亥年十二月吉日

とあり、明和四年の建立であります。

もうすぐ一年生
入学前の家庭指導を

むりじいはきんもつ

小学校一年生への入学は、人生における大きな転機の一つといえましょう。それは、学校教育という意図的な学習生活の内容が加わり時間的な規制をうけ、集団生活の仲間入りをするからです。このことは子どもたちにとっては大きな喜びでもあると同時に、多少の不安でもあります。

したがって、このような新しい人生の転機に立つ子どもたちに対して、家庭でどのように指導したらよいかということは、子どもの将来からみて、きわめて重要な意味をもつものです。

そこで、どのようなことを指導したらよいかということになりますが、それは、あくまでも今までなされてきた子どもの生活を基盤にしながら、少しずつ学校生活には入るに必要な生活習慣を無理なく身につけさせてやるように心がけることです。

子どもによっては、すでに、このような生活への適応ができるようになっている場合もあろうし、これから新しくしつけていかなければならない場合もあり、個人によって、いろいろ違ってまいります。「角をためて牛を殺す」ということわざがありますが、これから必要な生活態度を身につけさせようと指導するときに、あせりすぎて、子どもに強制したり、学校はきびしい所、先生は恐しいものだという印象を植えつけてしまってはたいへんです。

あくまでも、一年生になることの希望や喜びを、子どもの心情の中に育てることを基本として、小学生になる自覚へと導いていくことがたいせつです

このよろこびや自覚を基底にして、いろいろな行動様式を自然と身につけさせていきたいものです

基本的な指導

学校生活には入るために身につけさせたい生活内容としては、いろいろなことが考えられますが、その中で、基本的なことをあげてみましょう。

第一に子どもの生活をきまりよいものに導くことです。

(1) 起床や就寝の時刻をきちんとして、睡眠をじゅうぶんとらせるなど規則正しい生活をするようにさせること。

(2) 用便のしつけはもちろん、洗面や歯みがきの習慣をつけること。

第二に身のまわりのことは、自分で処理する習慣をつけることです

(1) 被服を自分でぬいだり、着たりすること。

(2) 自分の道具の整とんをすること。

(3) 自分のものと人のものが区別できるために「自分のなまえ」だけは読めるようにすること。

第三に健康に注意することです。

生活のしかたや環境が急に変化することは、未熟な子どもたちにとっては、心理的にも身体的にも大きな圧迫を受けやすいものです

このような、生活様式の変化に耐えることができてこそ学校生活を楽しくすることができるのであります。

また、トラホームや皮膚病などの伝染性の病気にかかっている子どもは、他のこどもにめいわくをかけるだけでなく、そのために劣等感を持つことにもなりかねないので、治療しておきたいものです

以上基本的なことがらについて書きましたが、子どもが心、身ともに健康で、最もよい条件のもとに入学できるように細心の注意をはらっていただきたいものです。

（教育委員会）

昭和三十七年度
鹿児島県映写技術者試験案内

消防法（昭和二十三年法律第一八六号）第一四条の規定に基づく映写技術者試験を次の要領により実施する。

一、試験の方法
試験は筆記試験、技能試験について行なう

二、試験の期日および場所
昭和三十八年二月二十八日（木）午前九時開始
鹿児島市

三、受験願書の受付期日
昭和三十八年二月十日から二月二十日まで

四、受験資格
男女の別、学歴および経験は問わない

五、願書用紙の交付
願書用紙は県庁地方課、市町村役場、消防本部で交付する

その他、受験についての問合せは県庁地方課および町役場総務課に連絡下さい。

香奠返し

町社会福祉協議会へ

一金壱千円也　故永野駒助様　高樋　平原　ツナ殿
一金壱千円也　故竹下アキ様　俵原　竹下　貞義殿
一金壱千円也　故久永藤吉様　上の東　久永　竜雄殿
一金弐千円也　故井之口タキ様　下名　井之口正一殿
一金五千円也　故福満末吉様　山ノ口　福満　篤殿
一金参千円也　故小倉ヒデ様　新馬場　小倉　堅殿
一金参千円也　故末吉為清様　東　末吉　イト殿　末吉　久男殿
一金弐千円也　故福元清治様　高樋　福元　マス殿
一金参千円也　故郡山ハル様　黒瀬北　郡山　平殿
一金弐千円也　故肥後良国様　大山西　肥後　テル殿
一金参千円也　故黒江シモ様　菅原　黒江　光男殿
一金参千円也　故川田亀吉様　星原　川田　忠夫殿